

練馬労連20周年・新春のつどい盛大におこなう



練馬労連は1月25日に「2014 新春のつどい・結成20周年レセプション」を行いました。

金田議長が主催者あいさつをおこない、来賓の東京地評・伊藤議長があいさつ「宇都宮けんじ都知事を実現しよう」と訴えました。続いて、練馬区労協松沢事務局長、練馬全労協からは三澤議長からあいさつを受けました。三澤議長は「ともに平和運動、公契約条例運動をすすめ、国会での労働法制の改悪を許さないたたかい、都知事選でも労働特区が問題になっている。宇都宮支持を決定してもとに共同のたたかいをすすめていきたい」とあいさつしました。

阿部事務局次長から20年史の紹介の後、歴代議長を代表して小番初代議長があいさつを行い「結成の前から練馬労連をつくるのが組合員にとってどうメリットがあるのかの議論があった、それは今も重要」と、組合員のメリットを常に考える役員の在り方を語りました。

橋本のお代さんの歌で盛り上がり、歴代の議長や役員、元争議団の東京電力とたたかった嶋田さんもあいさつし



ました。

宇都宮都政を実現しようの呼び掛けも

来賓からは練馬革新懇から菊池紘弁護士があいさつ、練馬労連の結成時に自身が候補者としてたたかった区長選にもふれて「絶好のチャンス。宇都宮都政を実現しよう」と呼びかけました。練馬民商・大泉生協病院などの代表からもあいさつをいただきました。

革新懇最後は全員で「がんばろう」を肩を組み合唱し、現在たたかわれている、労働法制改悪反対、都知事選での宇都宮勝利を決意しました。

不当解雇許さない闘う決意



1月末にも不当解雇の撤回を求める裁判を準備している松本氏から決意表明がありました。現在、解雇撤回のたたかいを

おこない、近く、東京高裁での判決も予定されている日本航空不当解雇撤回裁判でたたかっている原告団からも決意が述べられました。

参加者は来賓から名、組合から名でした。



練馬労連の20年を作成しました

「練馬労連の20年」という年史を作成しました。練馬労連の20年だけでなく、戦後の労働運動、練馬の労働運動について記載してあります。各組合に1ずつ贈呈しますが、必要があれば、余分にありますので申し出てください。

宇都宮候補の勝利でくらし・仕事をまもり平和を発信する東京をつくろう

2月9日の投票で都知事選挙がおこなわれています。練馬労連が参加する「練馬革新都区政をつくるみんなの会」は1月10日に世話人会で弁護士の宇都宮氏を推薦。練馬労連も16日の常任幹事会で推薦を決定し、各組合にチラシ等を発送してきました。

選挙戦は宇都宮氏(共産党・社民党・新社会党・緑の党推薦)と舛添氏、細川氏のたたかいになっています。選挙戦も終盤に入りました。

宇都宮必勝! 「みんなの会」決起集会に165人…三上氏講演に確信

1月27日に「みんなの会」はサンライフ練馬で決起集会をおこない、会場が満席になる165人が参加しました。



集会は教育評論家で都知事の候補者の経験もあるもある三上満氏から講演を受けました。三上氏は「細川氏がかつて首相だった時代に小選挙区制や消費税増税、政党助成金など自民党でもできなかったことをやった人、それを応援している小泉氏が首相だった10年間で労働者の収入が70万円も減らされ、非正規雇用労働者が25%から35%に増えた。かわりに株主配当が5兆円から15兆円に、大企業の内部留保が120兆から250兆円となった。働く者からお金が取られ、大企業や大金持ちに富が移動した。世の中が大きく変え、格差が大きくなった。そのことの反省もなしに原発問題だけでは信用できない」ときっぱり。さらに、宇都宮さんを支持する人が多種多様に広がっていることを示すこととして「住まいは人権と脱法ハウス問題、サラ金問題で苦しんできた青年、築地市場の移転反対、司法修習生の給費制

にに取り組んできた青年」など、宇都宮さんの運動にかかわった方々が応援弁士をおこなったことを報告しました。また、女優の木内みどりさんが「宇都宮さんは本物だ。名護では本物が当選した。今度は東京で本物を当選させよう」と呼びかけていることを紹介し、宇都宮さんの素晴らしさを広げようと訴えました。

次に各団体からの決意が表明されました。東京土建からは「公契約条例を公約している宇都宮さん」を組合員に広げていること。

新婦人からは30万対話を紙芝居などで取り組んでいる経験。教育問題では都教組練馬支部から「子どもが生き生きとする学校を」と訴えがありました。練馬民商からは税金の取り立てが厳しくなっている実態… など9人から決意表明がおこなわれ、阿部事務局長から行動提起で「宇都宮さんの人柄と政策を広げて必ず勝利しよう」と意思統一しました。

9人から決意表明がおこなわれ、阿部事務局長から行動提起で「宇都宮さんの人柄と政策を広げて必ず勝利しよう」と意思統一しました。



阿部事務局長から行動提起で「宇都宮さんの人柄と政策を広げて必ず勝利しよう」と意思統一しました。

阿部事務局長から行動提起で「宇都宮さんの人柄と政策を広げて必ず勝利しよう」と意思統一しました。

14春闘…たたかいとろう大幅賃上げ! 1050人で集会

1月28日に東京春闘共闘会議は中野ゼロホールで「たたかいとろう大幅賃上げ、くいとめよう憲法改悪、許すな雇用・くらし破壊の暴走政治」をスローガンに国民春闘決起集会をおこないました。



今年の春闘は大企業がだもうけを続けるなか、労働者の賃金が引き続き下げられている実態や、安倍政権が首切り自由、残業代ゼロなど「労働法制改悪」を狙う中で、14春闘は闘いの強化が求められています。

今年の春闘は大企業がだもうけを続けるなか、労働者の賃金が引き続き下げられている実態や、安倍政権が首切り自由、残業代ゼロなど「労働法制改悪」を狙う中で、14春闘は闘いの強化が求められています。

練馬労連では14春闘勝利へむけて、各組合の要求やたたかいの経験の報告を集約します。ぜひ、お寄せください。